

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

理科

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には意欲的に授業を受けることができているが、定期考査を分析すると、思考力・判断力・表現力の観点の問題が弱い傾向がある。 ・知識が問われると問題なく行えるが、知識を活用・応用する力、グラフを読み解く力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が意欲的に実験・観察に取り組む姿勢が見られる。一方で考察などの思考する場面の苦手意識が強い。知識を習得することは問題なく行えるが、知識を活用・応用する力、計算する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く力を向上させるために、実験の考察や章末のまとめなど文章を書く課題を多く取り組ませる。 ・計算が苦手な生徒には計算機を渡すなどの配慮を行う。 ・ICTを活用して視覚的に理解させ、科学的事象を身近にし、実験結果のまとめや考察の取り組みを考える。
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に対しては意欲的に取り組み、一人一人が予習をした上で授業を受けることができている。定期考査では、科学的に考え問題解決能力を問う問題が弱い傾向があり、得点分布から低学力の層と高得点をとれた生徒の二極化が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に実験や観察に取り組む一方、結果から科学的に考察する力、自分の言葉で表現する力に課題がある。数学的な概念が理解できていないなど、数学(算数)でつまづいている。表やグラフなどの読み解く力にも課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く力を向上させるために、実験の考察や章末のまとめなど文章を書く課題を多く取り組ませる。探究力を高めるため、結果が予想と異なる場合を想定したり、批判的思考に基づいた話し合いをしたりする。ICT機器を活用し、身近な科学的事象を取り入れ、視覚的に理解できるよう工夫する。
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果から、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」の回答に約80%の生徒が当てはまるとしていた。実験・観察に対して意欲的に取り組み、一人一人が予習をした上で授業を受けることができている。定期考査を分析すると、科学的に考え問題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見いだしながら、意欲的に実験や観察に取り組む姿勢がある。一方で、結果から科学的に考察する力、自分の言葉で表現する力に課題がある。数学的な概念が理解できていないなど、数学(算数)でつまづいている生徒が目立ち、表やグラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く力を向上させるために、実験の考察や章末のまとめなど文章を書く課題を多く取り組ませる。探究力が高まるよう、結果が予想と異なる場合を想定したり、批判的思考に基づいた話し合いをしたりする。ICT機器を活用し、身近な科学的事象を取り入れ、視覚的にも理解できるよう工夫する。

能力を問う問題が弱い傾向があり、得点分布から低学力の層と高得点をとれた生徒の二極化が生じている。

フなどの読み解く力にも課題がある。